



# 海の子

浜松市立舞阪小学校

学校だより

令和5年2月27日



世界で一番美しい言葉「ありがとう」

校長 井上 聡

令和4年度も今日を入れて残り14日間、6年生は15日間となりました。

そして進学・進級はもう目の前です。この大切な時期に子供たちには感謝の気持ちをもって次年度を迎えさせたいと願い、朝会では次のような話をしました。

今日は言葉についてのお話をします。みなさんは、「『世界で一番美しい言葉』は何でしょう。」と聞かれたら、何だと答えますか。私は、こう答えます。それは「ありがとう」です。みなさんの中には、この言葉をよく使う人もいます。この言葉を聞くと、うれしい気持ちになりますし、使っている皆さんも素敵に見えます。私は次のようなときに「ありがとう」を使っています。

- ・まず、朝ごはんのとき、熱いお味噌汁をもらう時に「ありがとう」私は、食べることが好きなので、「～がおいしかった」とも言います。
- ・清掃で一生懸命頑張っている子に、学校をきれいにしてくれて「ありがとう」
- ・お昼休みに外に出るときがあります。落とし物を届けてくれる子、けがをしている人を教えてくれる子、それから私の靴の紐がほどけているのを教えてくれる子、その他にも皆さんと過ごす中で、優しい行動や思いやりの心を感じる事がたくさんあります。その度に「ありがとう」を言います。
- ・先生方にも、子供たちのために頑張ってくださっている姿に「ありがとう」を言います。

日々の生活を振り返ると皆さんもよく口に出すのではないのでしょうか？

さて、「ありがとう」の反対は「当たり前」です。「ありがとう」の語源は「有り難い」、つまり「有る」ことが「難しい」、「有る」ことがなかなかないことがあったら、それは幸せなことだから「ありがとう」となるのです。反対に、「有る」ことが「当たり前」と思っていると、「ありがとう」という気持ちにはなりません。例えば、お家の人がいるとみんなのためにしてくださっていることや、自分が困っていた時に、誰かが手伝ってくれることを「当たり前」と思っていると、「ありがとう」という言葉は出てきません。身の回りには、私たちのことを思っていて下さった出来事がたくさんあります。そして、ちょっとした幸せを感じることもあります。すると自然に「ありがとう」という気持ちを伝えたくになります。

私は体の調子を崩したとき、いろいろな人のお世話になり、そしてたくさんのお心づかいをいただきました。学校で過ごしていると優しい行動、思いやりの心にたくさん出会います。そして感謝の言葉「ありがとう」をできるだけたくさんの人に伝えようと心がけています。

いよいよ3月になります。みなさんは進学、進級へと向かって一歩踏み出す時が近づいています。お互いが気持ちよく年度末を過ごし、そして新たな年度に向けて夢や希望を膨らめてほしいと思います。そのためにも3月は、世界で一番美しい言葉、「ありがとう」が学校中でたくさん聞かれることを願っています。